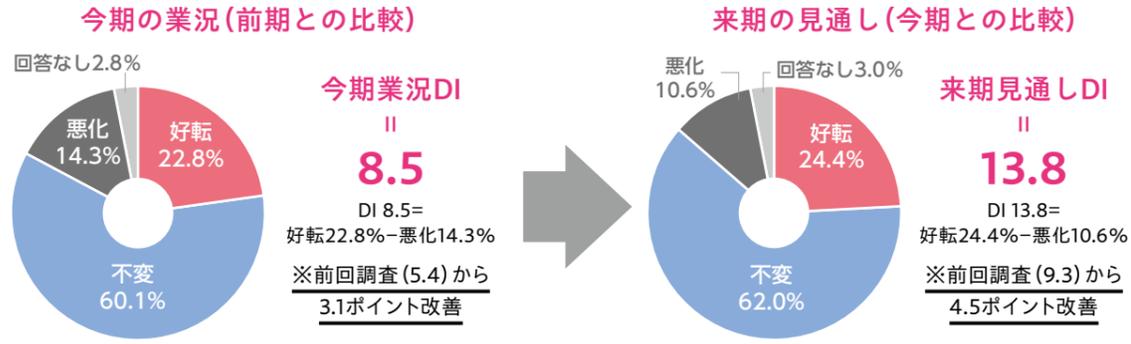


## 世田谷区における中小企業の景況

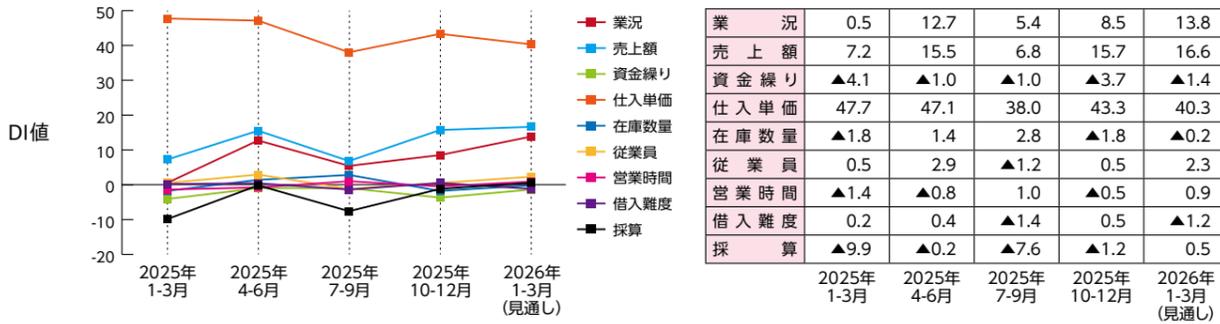
### 業況

今期(2025年10~12月実績)の業況DIは、+8.5ポイントで前期から+3.1ポイント改善した。  
来期の業況見通しDIは+13.8ポイントとなり、前回調査より+4.5ポイント改善する見通し。



### 主な指標別の傾向

今期は、売上額+15.7(前期比+8.9)、採算▲1.2(同+6.4)、仕入単価+43.3(同+5.3)、業況+13.8(同+3.1)、借入難度+0.5(同+1.9)、従業員+0.5(同+1.7)の6指標でポイントが増加、他3指標はポイントが減少した。来期見通しでは、仕入単価+40.3(当期比▲3.0)、借入難度▲1.2(同▲1.7)の2指標が減少、資金繰り▲1.4(+2.3)、従業員+2.3(同+1.8)、在庫数量▲0.2(同+1.6)など7指標ではポイントが増加し改善が見込まれる。



### 主要景況指数表[今期の状況(前期比)]

(注)調査項目:業況(好転⇨悪化)、売上額(増加⇨減少)、資金繰り(好転⇨悪化)、仕入単価(上昇⇨低下)、在庫数量(増加⇨減少)、従業員(増加⇨減少)、営業時間(延長⇨短縮)、借入難度(容易⇨困難)、採算(好転⇨悪化)

	業況	前年同期比	売上額	前年同期比	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	8.5	14.1	15.7	22.6	▲3.7	43.3	▲1.8	0.5	▲0.5	0.5	▲1.2
製造業	12.5	16.7	6.3	20.8	4.2	39.6	▲4.2	▲6.3	▲4.2	10.4	▲2.1
建設業	14.8	25.0	22.7	25.0	0.0	61.4	▲4.5	▲3.4	0.0	4.5	3.4
不動産業	14.9	19.1	12.8	17.0	4.3	34.0	▲2.1	▲4.3	2.1	2.1	8.5
卸売業	11.9	14.3	16.7	31.0	▲4.8	45.2	▲2.4	16.7	4.8	7.1	▲7.1
小売業	0.0	8.9	12.2	18.9	▲6.7	47.8	0.0	▲2.2	▲2.2	1.1	▲8.9
サービス業	5.0	6.7	17.6	23.5	▲10.1	31.1	0.0	4.2	▲0.8	▲10.1	0.0

### 主要景況指数表[来期の見通し(当期比)]

	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	13.8	16.6	▲1.4	40.3	▲0.2	2.3	0.9	▲1.2	0.5
製造業	8.3	4.2	▲2.1	43.8	▲2.1	8.3	0.0	14.6	▲6.3
建設業	13.6	19.3	0.0	48.9	▲5.7	0.0	▲1.1	3.4	▲2.3
不動産業	17.0	17.0	6.4	31.9	▲2.1	2.1	2.1	0.0	8.5
卸売業	9.5	9.5	▲4.8	47.6	11.9	0.0	2.4	2.4	▲4.8
小売業	8.9	13.3	▲6.7	52.2	▲2.2	▲1.1	▲3.3	▲4.4	▲6.7
サービス業	20.2	24.4	0.0	24.4	2.5	5.0	5.0	▲10.1	9.2

概況: <DI(Diffusion Index)とは…>DI(%)=「良い」「増加」等企業割合-「悪い」「減少」等企業割合

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」とする企業が多く、景気(またはそれぞれの要素)が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景気が低迷の傾向にあることを示します。

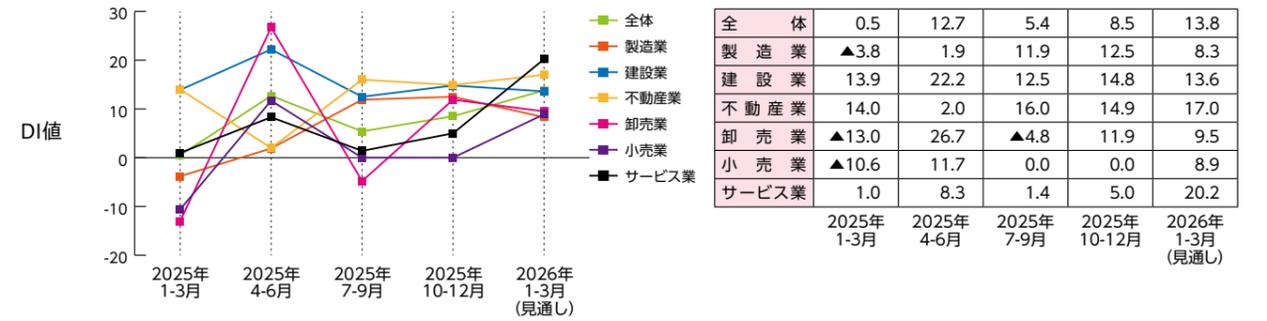
### 第94回調査実施概要

1.調査時期: 2025年12月19日~1月9日 2.対象期間: 2025年10月~2025年12月期、および2026年1月~2026年3月期見通し 3.調査対象: 支部会員中小企業(約3,730社) ①製造業・建設業・運輸業・その他の業種(②~④を除く)…資本金3億円以下、または従業員300人以下 ②卸売業…資本金1億円以下、または従業員100人以下 ③小売業…資本金5千万円以下、または従業員50人以下 ④サービス業…資本金5千万円以下、または従業員100人以下 4.調査方法: 調査票郵送~郵送・FAX・インターネットにて回収。区内金融機関に協力依頼。 5.回収状況: 合計434社(回収率=11.6%) 製造業…48社・不動産業…47社・小売業(飲食業含む)…90社・建設業…88社・卸売業…42社・サービス業…119社 ※数値については小数点第2位を四捨五入しており、計算値が一致しない場合がある。

お問合せ 東京商工会議所世田谷支部 TEL: 03-3413-1461

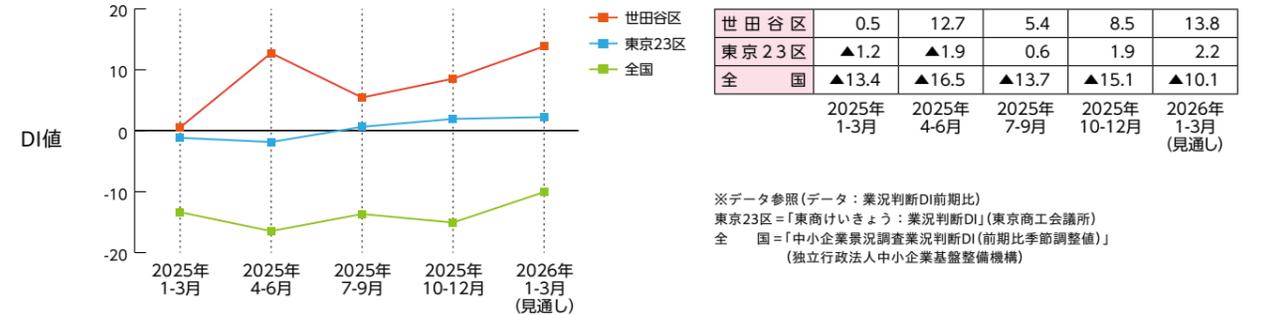
### 業種別の動向

今期の業種別DIは、悪化したのは「不動産業」+14.9(同▲1.1)のみであり、その他の5業種は改善した。大幅に改善したのは「卸売業」+11.9(前期比+16.7)で15ポイント以上の改善となった。来期は「サービス業」+20.2(当期比+15.2)、「小売業」+8.9(同+8.9)、「不動産業」+17.0(同+2.1)の3業種で増加する見通し。



### 東京都・全国との比較

今期は「世田谷区」(+8.5ポイント、前期比+3.1)、「東京23区」(+1.9ポイント、同+1.3)のポイントは増加したが、「全国」は(▲15.1ポイント、同▲1.4)と減少した。来期見通しは「世田谷区」(+13.8ポイント、当期比+5.3)、「全国」(▲10.1ポイント、同+5.0)、「東京23区」(+2.2ポイント、同+0.3)とポイント増加する見通し。



※データ参照(データ:業況判断DI前期比)  
東京23区=「東商けいきょう:業況判断DI」(東京商工会議所)  
全国=「中小企業景況調査業況判断DI(前期比季節調整値)」  
(独立行政法人中小企業基盤整備機構)

### 経営上の問題点

1位「仕入単価、下請単価の上昇」40.3%(前期比▲1.9ポイント)、2位「人件費の増加」34.3%(同▲7.1ポイント)、3位「人件費以外の経費の増加」30.9%(同+0.2ポイント)、4位「従業員の確保難」25.6%(同▲2.1ポイント)と上位4位までは前回順位と同じ。5位「購買ニーズの変化への対応」14.7%(同+1.6ポイント)、6位「需要の停滞」10.8%(同+0.0ポイント)はそれぞれ前回順位の6位と7位から上昇。7位「新規参入者の進出や同業者の増加」10.6%(同+3.2ポイント)、8位「金利負担の増加」9.7%(同+2.1ポイント)はそれぞれ前回順位10位と9位から上昇。9位は同率で「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」9.2%(同+1.4ポイント)と「販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難」9.2%(同▲4.1ポイント)でそれぞれ前回順位8位と5位から下降した。

順位	項目	回答数	回答率	前回順位	順位	項目	回答数	回答率	前回順位
1	仕入単価、下請単価の上昇	175	40.3%	— 1	11	大企業(大型店)進出による競争激化	31	7.1%	↑ 13
2	人件費の増加	149	34.3%	— 2	12	生産設備の不足・老朽化	21	4.8%	↓ 11
3	人件費以外の経費の増加	134	30.9%	— 3	13	事業資金の借入難	19	4.4%	↓ 12
4	従業員の確保難	111	25.6%	— 4	14	在庫の不足	15	3.5%	↑ 16
5	購買ニーズの変化への対応	64	14.7%	↑ 6	15	在庫の過剰	11	2.5%	↑ 16
6	需要の停滞	47	10.8%	↑ 7	16	購買力の他地域への流出	10	2.3%	↑ 18
7	新規参入者の進出や同業者の増加	46	10.6%	↑ 10	16	代金回収の悪化	10	2.3%	↓ 15
8	金利負担の増加	42	9.7%	↑ 9	18	取引条件の悪化	5	1.2%	↓ 13
9	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	40	9.2%	↓ 8	19	生産設備の過剰	1	0.2%	— 19
9	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	40	9.2%	↓ 5					

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。